

Cisco License Central(CLC)を使用してCisco License On-Prem(CLP)の同期を実行するにはどうすればよいですか。

はじめに

このドキュメントでは、Cisco License On-Prem(CLP)の導入をCisco License Central(CLC)と同期する手順について説明します。この手順は、Smart Licensing(SL)デバイスとSmart Licensing Using Policy(SLP)デバイスの両方に適用されます。

前提条件

開始する前に、次の点を確認してください。

- アクティブなCisco.comアカウント。
- シスコライセンスオンプレミス(CLP)ポータルへの管理者アクセス
- オンプレミスアカウントに関連付けられたスマートアカウントへのアクセス
- Cisco License Central(CLC)にアクセスするユーザは、次のうち少なくとも1つを所有している必要があります。
 - スマートアカウントユーザ/管理者。
 - 仮想アカウントユーザ/管理者。

手順

ネットワーク (オンライン) 同期:

ステップ1: Cisco License On-Prem(CLP)ポータルにアクセスします([https://\(IPアドレス\):8443/#/mainview/](https://(IPアドレス):8443/#/mainview/))。

ステップ2：左側のメニューから[ライセンス]ワークスペースに移動します。

ステップの結果：すべてのシスコライセンスオンプレミス(CLP)アカウント関連の詳細が1つのダッシュボードに統合されます。

- オンプレミスアカウント名
- 同期ステータス
- 前回の同期
- Smart Account
- 仮想アカウント
- ライセンス
- デバイス
- 製品分析およびその他
- 右上の[設定]ボタンを使用して、ビューをカスタマイズできます。

ステップ3：フィルタまたは検索バーを使用して、特定のオンプレミスアカウントを検索します。一番左の列にある3つのドットのアイコンをクリックします。

ステップ4：ドロップダウンメニューからInitiate network (online) syncを選択します。

ステップの結果: 「同期ステータス」列で進行状況を監視できます。

手動 (オフライン) 同期:

ステップ1: Cisco License On-Prem(CLP)ポータルにアクセスします(([https://\(IPアドレス\):8443/#/mainview/](https://(IPアドレス):8443/#/mainview/))。)

ステップ2：左側のメニューバーからLicensing Workspaceに移動します。

ステップ3：フィルターまたは検索バーを使用してターゲットアカウントを見つけ、右端の列の3ドットアイコンをクリックします。

ステップ4：ドロップダウンメニューから[手動 (オフライン) 同期の開始]を選択します。

ステップ5:ポップアップウィンドウで、Generate an On-Prem Account synchronization file/ハイパーリンクをクリックして、ファイルをローカルコンピュータに保存します。

ステップの結果：使用状況ファイルがローカルディレクトリにダウンロードされます

ステップ6:Cisco.comのクレデンシャルを使用して[Cisco Software Central](#)にログインします。

ステップ7:Cisco License Centralセクションで、Cisco License Centralへのアクセスをクリックします。

ステップ8：検索機能を使用してスマートアカウントを見つけます。

ステップ9:Devicesタブに移動し、Device Connectionsの下にあるDevice Managersを選択します。

ステップ10：該当するオンプレミスアカウントを選択し、右端の列の3ドットアイコンをクリックして、[同期ファイルのアップロード]を選択します。

ステップ11：ステップ5で生成されたファイルをアップロードし、Nextをクリックします。

ステップ12：ファイル情報を確認し、Submitをクリックします。確認ページが表示されたら、[閉じる]をクリックします。

ステップ13：同じDevice Managersビューで、アカウントの3つのドットのアイコンをもう一度クリックし、Download latest response fileを選択します。

ステップの結果：最新の応答ファイルがローカルディレクトリにダウンロードされます

ステップ14：シスコライセンスオンプレミスポータル([https://\(IPアドレス\):8443/#/mainview/](https://(IPアドレス):8443/#/mainview/))に戻ります。

ステップ15：ライセンスワークスペースに移動し、ステップ3を繰り返してアカウントを選択します。

ステップ18:Initiate manual (offline) syncを選択し、ステップ13でダウンロードしたレスポンスファイルをアップロードします。

ステップの結果:「同期ステータス」列で進行状況を確認できます。



注：この同期手順は、Smart Licensing(SLP)デバイスとSmart Licensing Using Policy(SLP)デバイスの両方に適用されます。

スケジュールされた同期：

ステップ1: Cisco License On-Prem(CLP)ポータルにアクセスします([https://\(IPアドレス\):8443/#/mainview/](https://(IPアドレス):8443/#/mainview/))。

ステップ2：左側のメニューバーからAdmin Workspaceに移動します。

ステップ3: [同期]タブを選択し、ページの上にある[スケジュール同期]タブをクリックします。

ステップ4: Enable Scheduled syncボックスにチェックマークを入れます。次のパラメータを設定します。

- 開始日：スケジュール済の同期を開始する日付。
- 頻度：同期を実行する頻度（毎日、毎週など）。
- 時刻：UTCでの同期に適した時刻（時と分）。

ステップ5: Applyをクリックします。

ステップの結果：スケジュールされた同期設定が正常に更新されたことを示す確認メッセージが表示されます。

スケジュールされた同期の無効化：

特定のオンプレミスアカウントに対してスケジュールされた同期を無効にする必要がある場合は、次の手順を実行します。

ステップ1：管理ワークスペースに移動します。

ステップ2: 「同期」タブを選択します。

ステップ3：リストから特定のオンプレミスアカウントを見つけます。

ステップ4：アカウント行の3ドットアイコンをクリックして、[スケジュールされた同期を無効にする]を選択します。

トラブルシューティング

外部のお客様/パートナー様専用：次の手順に従って問題を解決してください。さらにサポートが必要な場合は、[Cisco Support Case Manager](#)からライセンスサポートのリクエストを開始してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。